

第2期十日町市まち・ひと・しごと創生総合戦略の評価方法

1 評価方法について

令和2年度から令和6年度までの5年間を計画期間とした第2期総合戦略では、4つの基本目標ごとに成果指標や、基本目標の実現に向け、講ずべき施策に関する基本的方向と具体的な施策を掲げ、施策の効果を客観的に検証できる重要業績評価指標（KPI）を設定しています。

本推進会議では、個別の事業についての評価を行うのではなく、各基本目標で設定した成果指標の実績値、具体的施策で設定したKPIの実績値、基本目標達成に向けた取組など、第2期総合戦略の4つの基本目標ごとに評価を行う。

2 基本目標の評価基準等

各基本目標で設定した成果指標の実績値のほか、具体的施策で設定したKPIの実績値及び達成に向けた取組を勘案し、下記の考え方と基準により評価を行う。

※成果指標の数値目標に対する評価の考え方

【共通】

令和3年度も新型コロナウイルス感染症の影響により、施設の入込数や利用者数などの実績値が大きく減少しています。評価・検証にあたっては、KPIの実績値だけでなく、達成に向けた取組や今後の展開等を勘案して評価してください。

【基本目標Ⅰ、Ⅱ、Ⅲ、Ⅳ】

令和3年度単年度の実績値のほか「基本目標達成に向けた取り組み」を参考とする。

(1) 基準表

	推進会議の総合評価
A	目標値の達成に向けて、着実に進んでいる。 (対策や事業が施され、効果が出ている)
B	目標値の達成に向けて、概ね進んでいる。 (課題等の整理がなされ、対策の実施が進められた)
C	改善や工夫が必要と思われる。